

(6) 農協のはたらき

農協（農業協同組合・JA昭和）は、農家の人たちがお金を出し合って田や畑の仕事やくらしをよくするためにつくられた組織です。

米や花を農家から集めたり、品質検査をして出荷したりしています。このようにすると農家の人の手間が少なくなり、売るのにも都合がよいのです。このほか、農協では、肥料や機械を安く農家に売ったりスーパーマーケットをつかってわたしたちのくらしを支えてくれています。また、お金を貯金したり、保険に入ることもできるのです。

以前は米と葉タバコを組み合わせた栽培農家が多かったのですが、最近では米と花卉、または花卉のみの栽培農家が増えてきています。葉たばこは買い上げ価格が伸び悩み、また全国的に生産しすぎであるために栽培が減少しました。一方、イメージがよく、仕事も葉タバコに比べて楽な花卉栽培が増えるようになってきました。

また、稲作は栽培者の高齢化や、収量の不安定さなどから栽培面積を増やす人が減ってきています。そして、耕作ができなくなり荒地と becoming いるところもあります。

農協ではこのような耕地を農家から預かり、耕作し、収量に応じた利益を農家に還元しています（経営受託）。最近はこうした経営受託をする農家が増えてきています。

